

1. 件名：福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請（多核種除去設備スラリー安定化処理設備の設置）に係る面談

2. 日時：令和6年2月21日（水）13時30分～14時45分

3. 場所：原子力規制庁6階会議室

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

佐藤室長補佐、森審査班長、石井安全審査官、元嶋専門職

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当6名（うちテレビ会議システムによる出席3名）

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、実施計画変更認可申請（多核種除去設備スラリー安定化処理設備の設置）について、資料に基づき、HIC内スラリー拔出装置のモックアップ試験に関する説明があった。

○原子力規制庁は、説明を受けた内容について事実関係の確認を行うとともに、主に以下のコメントを伝えた。

- HIC内スラリー拔出装置について、今後、詳細な構造を示すこと。その際には、当該装置の使用により放射性物質の飛散が考えられることから、汚染防止対策や作業員の被ばく低減策等について整理して示すこと。
- HIC内スラリーの抜き出しの実現可能性については、今後実施するモックアップ試験の視察等を通じて確認を行うこと。

○東京電力より、了解した旨の回答があった。

6. その他

資料：

- ALPSスラリー安定化処理設備設置におけるHIC内スラリー拔出装置について

以上